



## 令和3年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和3年10月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」、「科学光学機器」などが増加したことから、対前年同月比 15.8%の増加となった。また、輸入額は「石炭」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加したことから、同 44.1%の増加となった。  
その結果、差引額は432億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	773億円	+15.8%	1,205億円	+44.1%	▲432億円	+156.5%
	7ヵ月連続の増加		7ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸 出	増加品目	(1) 自動車	98億円	+107.8%	輸 入	増加品目	(1) 原油及び粗油	651億円	+78.3%
		(2) 科学光学機器	32億円	+253.8%			(2) 石油製品	113億円	+73.3%
		(3) 鉱物性タール及び粗製薬品	36億円	+129.7%			(3) 液化石油ガス	51億円	+131.5%
	減少品目	(1) 自動車の部分品	43億円	▲28.0%		減少品目	(1) 石炭	3億円	▲90.4%
		(2) 電気回路等の機器	63億円	▲19.3%			(2) 重電機器	2億円	▲71.1%
		(3) 荷役機械	1億円	▲86.2%			(3) 半導体等電子部品	3億円	▲65.6%
地域別動向	アジア、西欧が増加、大洋州は減少			地域別動向	中東、北米が増加、大洋州は減少				

(参考) ドルレートは、111.42円（前年同月比5.6%、5.91円の円安）であった。  
(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。